
「飛び出す住宅プレゼンテーション」で他社と差別化！
福井コンピュータ、ナムコ開発の「遠山式立体表示法」を建築 CAD に応用

福井コンピュータ株式会社

福井コンピュータ株式会社は、株式会社ナムコが開発した「遠山式立体表示法」の技術提供を受け、建築 CAD では初めて、3次元立体視で住宅プランをプレゼンテーションできるソフトウェアを開発しました。このソフトウェアを「ARCHITREND 21 遠山式 3D ピクチャー」(以下、「AT21 遠山式 3D ピクチャー」)として、2004年12月15日より発売開始します。

3次元立体画像の再生方式「遠山式立体表示法」

株式会社ナムコが開発した「遠山式立体表示法」では、赤青眼鏡方式をはじめ様々な3次元画像再生方式に対応し、自然で立体感のある立体画像を体験することが可能です。

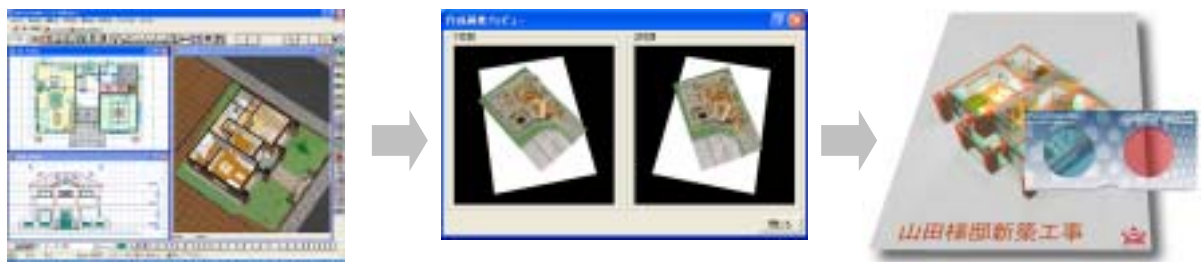
この技術は、画像作成時の設定次第で、まるで机の上に物が置いてあるような立体画像や、人物のフィギュアのような立体画像など、様々な見方や設置方法に対応することが可能です。また、画像データを通常の印刷会社で大量印刷することも可能。数ある立体視眼鏡の中でも安価な赤青眼鏡を使用可能なため、低コストで立体画像を体験できることも大きな特徴です。

住宅プラン 3次元立体視プログラム「AT21 遠山式 3D ピクチャー」

福井コンピュータ株式会社の「AT21 遠山式 3D ピクチャー」では「遠山式立体表示法」の技術を採用することによって、住宅プランの提案を3次元立体視で行うことを可能としています。

同ソフトウェアは、3次元建築設計支援システム「ARCHITREND 21」で作成した住宅プランの画像データから、左眼・右眼用の画像を作成し、プリントアウトした後、専用の眼鏡で見ることにより、リアルで立体的な住宅プランを確認することができます。まるで住宅が飛び出して見えるようなプレゼンテーション手法は、これまでに例がなく、大変効果的な住宅販売のツールとなると考えております。

住宅を検討する施主に対し他社と差別化をはかるためにフルカラーパスを提供することが多くなってきましたが、「AT21 遠山式 3D ピクチャー」の導入により、住宅プランを立体的にプレゼンすることで、さらに差別化・受注アップなどにつながると予想できます。



ARCHITREND 21・Virtual House でプラン作成

視点設定だけで画像を自動作成

専用眼鏡で覗くと壁や家具が立体的に

■ 発売予定日

➤ 2004年12月15日(水)

■ 価格

➤ オープンプライス

遠山式立体表示法を活用した住宅プラン立体視プログラム「AT21 遠山式 3D ピクチャー」
につきましては、同封の出力見本及び、専用眼鏡を使用して体験して下さい。

■ 関連 URL

➤ 「遠山式立体表示法」について

<http://www.namco.co.jp/pr/release/49/49-020.pdf>

➤ 住宅プラン立体視プログラム「AT21 遠山式 3D ピクチャー」について

<http://www.fukuicompu.co.jp/>

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 販売企画部

Tel : 0776-67-6210

e-mail : tomato@po.fukuicompu.co.jp

福井県坂井郡丸岡町磯部福庄 5-6

ホームページ : <http://www.fukuicompu.co.jp/>